

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	中心ライン関連血流感染患者背景の分析と挿入時バンドル実施状況の評価		
2. 対象患者	以下の期間において、当院第一病棟8階に入院し、中心ラインカテーテルを使用している患者様		
3. 対象となる期間	2015年 2 月 1 日 ~ 2018年 3 月 31 日		
4. 実施診療科等	感染制御センター		
5. 研究責任者	氏名	尾崎 浩美	所属 看護部
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	記載事項はありません		
7. 研究の意義	中心ライン関連(鎖骨や頸部等から挿入したカテーテル)の血流感染は、カテーテル管理が適切に行われているかを判断する材料となります。当該病棟では、化学療法の実施や免疫抑制剤使用等、感染しやすい患者様が多く、また、中心ラインカテーテルの使用頻度も高い状況下にあります。中心ライン関連血流感染の分析を行い、問題点を明確化することにより、中心ライン関連の血流感染を減少できると考えます。		
8. 研究の目的	中心ライン関連血流感染の監視で感染と判定された患者様について、背景の分析とカテーテル挿入時のバンドル(感染を起こさないための一連の手技:手指衛生, カテーテル挿入時の高度な無菌操作, 皮膚消毒の種類, 挿入部位, カテーテルの種類等)を評価することにより、カテーテル管理の改善項目を検討します。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	対象期間中に当該病棟で実施している中心ライン関連血流感染監視データをもとに、感染と判定した事例について、疾患、性別、年齢、カテーテルの種類、挿入部位、感染までのカテーテル挿入期間、分離された病原菌の分析とカテーテル挿入時の手技の実施状況を評価します。		
10. 個人情報の保護	本研究により得られた個人データは匿名化され解析されます。また、得られた情報は暗号化し管理します。解析したデータを学会や論文などに発表する場合においても個人情報は一切含まれません。したがって、個人のプライバシーは十分に擁護されます。本研究への情報利用を拒否された場合、データは削除致します。ただし、すでに匿名化のうえ、解析済みの場合や学会や論文での公表済みの場合は、データを修正することはできませんのでご了承ください。		
11. 利益相反に関する状況	本研究に関する利益相反はありません。		
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院 看護部 尾崎 浩美		
	電話	0172-39-5176	FAX 0172-39-5414